

9月23日、「第61回白鷹若鮎マラソン大会」が開催され、晴天の秋の白鷹路を1138名のランナーたちが駆け抜けました。

今年は、ゲストランナーとして、東北福祉大学女子陸上競技部の現役選手の方に参加いただき、力強い走りで参加者や観客を魅了するとともに、今年もたくさんの中高生や地域の方にボランティアとして参加していただきました。

完走後には、若鮎マラソンの名物ともなった豚汁などの振る舞いが行われ、白鷹のおいしい味も堪能していただきました。

1138人のランナー、秋の白鷹路を激走。

















鮎を食べる人も 鮎を焼いている人も



みんな、笑顔、










9月19日、20日の2日間、道の駅白鷹ヤナ公園を会場に「第49回白鷹鮎まつり」が開催され、のべ1万6千人の方にご来場いただきました。香ばしく焼き上げた鮎の塩焼きのほか、山形名物の芋煮や旬の食材をふんだんに使用した炊き込みご飯などが並び、電動ろくろ体験やひょうたんランプ手作り体験は、家族連れの方で大いに賑わいをみせ、訪れた大勢の方に、しらたかの秋を堪能していただきました。






